



## 微生物による水の浄化 -第4回-

今回は微生物による海の浄化の実例をお話します。これは広島県の瀬戸内海に位置する内海町の事例です。

みなさんは、いつも食べている海苔が海からとれる天然の物を干して製品になり、それを食べているから安心であると思っておられる方が多いと思いますが、それは大変なまちがいです。海苔は、海から引き上げ乾燥するまでに大量の真水を使用して洗われるのですが、その時に水の中へ塩素や酸処理剤といった化学薬品が同様に大量に使用され、その後、乾燥させた製品として売られ、私達の口の中へ入っているのが現状です。又、使用後の処理水は下水より海へ流れてゆき、だんだんと魚が棲めない海の水へと変化してゆきます。

1997年、広島県内海町の1人の海苔養殖・加工業者である 兼田 功さんは自らが海を汚し、化学薬品使用の海苔を消費者に売ってはいけないと気づき、海苔を洗う時の処理水に化学薬品は一切、使用しないと決めました。

しかし、薬品を使用しないと新しい水を流し続けねばならない、そうなる水代がこれまでの数十倍費用がかかり、今までのような値段で海苔の出荷はできません。

そこで入つて聞いた有用微生物をタンクの水の中へ入れて、薬品を使用した場合と比べると驚いた。すると、塩素や酸処理剤を入れなくてもタンクの水は腐敗せず1ヶ月そのまま使える事がわかりました。これは、微生物が造り出す抗酸化物質の酵素による働きで、物は空気にふれ酸化すると腐ってゆきますが、抗酸化物質のおかげで1度入れた水は1ヶ月保てる事ができます。これで消費者には安全で安心できる本当の自然の海苔を食べていただける様になりました。

しかし、全国の大半の加工業者は、従来の方法で化学薬品を使用し、その水を海に流してあります。

海苔加工業者の兼田さんは、1ヶ月程使用した有用微生物が入ったタンクの水を下水に流し、再度同じことのくり返しを半年、1年と続けていました。

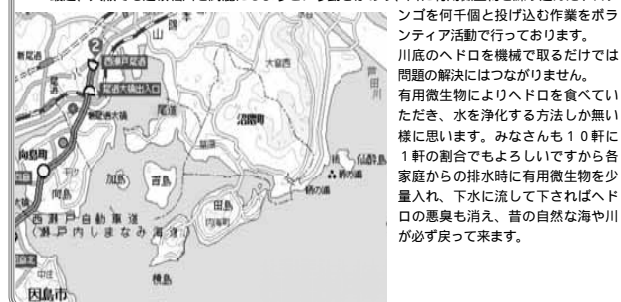
するとどうでしょう、海までの下水の距離、約300mにたっていたヘドロがいつの間にか無くなってはなりませんか！それに海岸沿いのヘドロの砂丘も綺麗になり、ほとんど壊滅状態だったアサリ等の魚貝類もどってきており、海ではイワシ等が豊富に昔と同じ様にとれ出し、漁師が非常に驚きました。1年だけなら何年かの周期でここのう事も起こりますが、毎年同様であれば自然の環境が元に戻ったとしか考えられません。

兼田さんはそのことで考えておられなかったと思いますが、たった1軒の家が海に向けて有用微生物を流し続ける事により、海も下水も浄化され、それらの経済効果は漁師にとっても計り知れない物がありました。

現在、内海町では各家庭に役場より有用微生物が配られ、各家庭ではそれを米のとぎ汁に入れたり、お風呂に入れたりし、使用後はそのまま下水に流してあります。

最近、大阪でも道頓堀川を綺麗にしようという動きがあり、川に有用微生物を練り込んだドロタンゴを何千個と投げ込む作業をボランティア活動で行っております。

川底のヘドロを機械で取るだけでは問題の解決にはつながりません。有用微生物によりヘドロを食べていただき、水を浄化する方法が無い様に思いますが、みなさんも10軒に1軒の割合でもよろしいですから各家庭からの排水時に有用微生物を少量入れ、下水に流して下さればヘドロの悪臭も消え、普の自然な海や川が必ず戻って来ます。



## お花見会

去る四月十六日(土)堺市の大仏公園にてお花見が開催されました。暖かな春の陽光に包まれる晴天となり、絶好のお花見日和となりました。

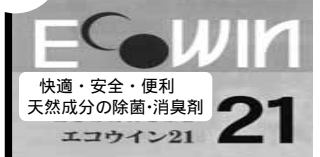
目下での桜の散り具合が心配な頃合いでしたが、まだソメイヨシノの花びらは残っています。桜の種類によっては満開と謳ってました。そして、彩るタンクの花遣はともも綺麗でした。

花見会場に着いた私達は、お昼ごはんまでお籠居しました。庭園美術館、児童遊園など、のんびり遊しました。その後、物を観ながら昼食、みなさん、ほんわかした和やかなムードを楽しんでおられました。さらにボランテアキによる半ボド演奏や歌の披露があり、一層雰囲気盛り上げてくださいました。食事を楽しんだ後はお楽しみゲームコーナー。最初のゲームは、宝さがし。あちらこちらの木に吊ったカードと折り紙をみながら探します。獲得した折り紙は後で賞品と交換できるので、みなさん頑張っておられました。そして結果発表。それぞれ賞品を獲りながら嬉しそうでした。



次のテーマは、着替えです。まず3ツのチロニに分かれて列になります。そして衣装の入った袋を順番に運んでいき、列の最後尾の人が袋を破って着ます。それぞれ学生服、着物、女学生服の衣装が3ツに分かれていてどの部分が入っているかは開けて見ないとわかりません。大いに盛り上がったゲームでしたが、特に、女学生の衣装を見たのは何と男性だったのです。みなさん大爆笑でした。そして、その格好のままみんな記念撮影をしました。大盛況のうちにお花見は終了しました。みなさんとても明るやかな笑顔になられて良い一日でした。(田中)

## 新 発売になり、パワーアップ!! ラベンダーの香が付き、使いやすい容量になりました。



快適・安全・便利  
天然成分の除菌・消臭剤  
エコウィン21  
「エコウィン21」金額：  
250ml(約2.5リットル) = 1,000円  
500ml(約5リットル) = 2,000円  
10倍に希釈して使用します  
スプレー容器:250ml(目盛付) 必要の方のみ

## エコウィンって何?

エコウィン21は自然界に在る乳酸菌・酵母菌・光合成細菌などの80種以上の人にとって有用な微生物群(善玉菌/蘇生菌)を集めて培養したものの。酒や味噌・チーズなどの発酵食品に使われている微生物と同じ仲間。

## 有用微生物群(=善玉菌)が活躍する時代に

化学薬品・化学農薬に代わって、水質浄化・土壌浄化・生ゴミ分解・畜産飼料などに広く活用されるようになってきました。



垂れ幕、ポスター等を大型カラープリンタより印刷致します。  
イベントやお知らせ誌等の様子の目的にお気軽にご用命して下さい。



## 大増力になりました。

大きさや色数により値段が変わります。  
モノクロ1色=610ミリ 1,000円/m、910ミリ 1,500円/m  
カラー2色=610ミリ 1,500円/m、910ミリ 2,000円/m  
フルカラー=610ミリ 2,000円/m、910ミリ 2,500円/m

基本(610又は910ミリ) xメートルです。ご不明な点は支える事務局迄ご相談下さい。

# 第42回重症心身障害児(者)を守る全国大会 高松市にて開催

## 【大会概要】

と き 平成17年6月18日(土)～6月19日(日)

と ころ サポートホール高松  
〒760-0019 高松市サポート2-1  
TEL (087) 825-5000

内 容 分科会、式典など

主 催 社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会  
全国重症心身障害児(者)を守る会  
香川県重症心身障害児(者)を守る会

後 援 厚生労働省 文部科学省 他

大会次第

【第1日目】6月18日(土) サポートホール高松  
受付 12:00～13:00

分科会 13:00～17:00  
第1分科会「独立行政法人国立病院機構の  
評価とこれからの課題」  
第2分科会「障害者自立支援法(案)について」  
第3分科会「養護学校における医療的ケアの充実」  
懇親会 18:00～19:30  
【第2日目】6月19日(日) サポートホール高松  
みんなで語ろう 9:15～10:15  
式 典 10:30～12:00

問い合わせ  
社会福祉法人  
全国重症心身障害児(者)を守る会 事務局  
〒154-0005 東京都世田谷区三宿2-30-9  
TEL(03)3413-6781～3 FAX(03)3413-6919

全国重症心身障害児(者)を守る会四国ブロック  
事務局(石井)  
TEL(087)867-2439 FAX(087)868-9176

## 「支える会」入会のご案内

大阪府重症心身障害児・者を支える会(全国重症心身障害児(者)を守る会の大阪支部)への入会についてご案内いたします。



【個人会員】 年会費 8,400円  
本部「両親の集い」、本会「支える」発行購読料含む  
年会費 3,600円  
本会「支える」発行購読料含む  
【法人・団体会員】 年会費 10,000(1口)  
本部「両親の集い」、本会「支える」発行購読料含む  
年会費 3,000円(1口)  
(運営資金の協力会員)  
本会「支える」発行購読料含む

申込み・問い合わせは事務局までお願いします。

## < 会費納入について >

平素より、本会の活動に御理解と御尽力を賜り誠に有難うございます。  
さて、本会の平成17年度会費の納入時期が参りましたので、ご連絡申し上げます。今後も重症心身障害福祉の為に全力を尽くしますので皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。

なお、既に納入がお済みの方にはあしからずおしりを願いますようお願い申し上げます。

< 問い合わせ > 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28  
育徳コミュニティーセンター2F  
TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2565  
< 郵便振替 > 00930-9-69598 大阪府重症心身障害児・者を支える会



## 「支える会」事務局

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28  
育徳コミュニティーセンター2階  
大阪府重症心身障害児・者を支える会 会長 鈴木 祥子  
TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2565  
< 郵便振替 > 00930-9-69598

## 支える会ホームページのご案内

ドメイン名 <http://www.sasaeru.or.jp/>  
メールアドレス [osaka@sasaeru.or.jp](mailto:osaka@sasaeru.or.jp)  
様々な御意見・御質問や情報をメールや掲示板にお寄せ下さい。

全国・各地へ  
リンクあり!



## 居宅介護事業所がらのお知らせ

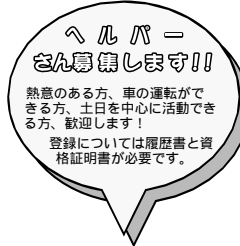
事業所: 特定非営利活動法人  
大阪府重症心身障害児者を支える会

事業内容: 身体介護 家事援助 移動支援 日常生活支援  
(月曜日～日曜日 0時～24時)

受付時間: 9時30分～17時30分

主たる活動地域: 阿倍野区 平野区 東住吉区 住吉区 中央区  
天王寺区 浪速区 城東区 住之江区

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28  
育徳コミュニティーセンター内  
TEL: 06-6624-2555 FAX: 06-6624-2565 担当: 山村、池島



## 編集後記

気持のよい晴れやかな日々が続いています。  
「五月雨」といふ言葉が自然と頭に浮かび、  
書庫の隅にまじり置いた言葉がひびき  
返る音が、あつた。  
「除目」の、梅雨の音の響きがあり、正し  
い方を必要とあります。  
近頃、障害者自立支援法(案)「クラウドゼイ  
ン」で内容は同じ意味ですが、「応給負担」より  
「定率減税」という表現が使われて、よ  
うなっているようです。  
これは、法案の前身への反対もさることなが  
ら障害者や「食費」「睡眠・トイレ」といった日  
常な生活費は「障」であるという表現が  
問題視されているからと、しかし、残念なが  
ら表現を使い分けられたからというよりも本  
質的な部分が変わったわけではありませぬ。

編集委員 一同

編集・責任者  
〒5450021  
大阪府阿倍野区阪南町五-15-28  
育徳コミュニティーセンター2F  
TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2565  
運営委員長 鈴木 祥子  
郵便振替口座  
00930-9-69598  
大阪府重症心身障害児・者を支える会

発行所 大阪府身体障害者団体定期刊行物協会

(会費の方は会費の中に含まれています)  
吹田市千里山丘二 一七二  
定価 五〇円